

4 笠岡っ子の育成に関する事業

実施事業	子ども医療費給付事業（市民課）
総事業費	204,902,898 円
ふるさと納税充当額	50,000,000 円

子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、健康の向上と健全な発育に寄与するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図れるよう、子どもの医療費を助成しています。

対象年齢は、通院・入院ともに中学校修了前までとしておりましたが、平成30年度からは、入院について高等学校修了前まで対象年齢の拡大を行っています。

実施事業	新学習指導要領に対応したICT環境整備事業（学校教育課）
総事業費	33,523,188 円
ふるさと納税充当額	19,000,000 円

国の「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」に基づき、「学習者用コンピュータを3クラスに1クラス分程度整備」「超高速インターネットの100%整備」「教師のICT活用指導力の改善」を行い、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図りました。

実 施 事 業	外国語指導助手配置事業（学校教育課）
総 事 業 費	43,687,200 円
ふるさと納税充当額	15,000,000 円

笠岡市の子どもたちへ生きた英語に触れる機会を提供するために、ALT（外国語指導助手）を各小学校に配置いたしました。市内全 26 校を 9 名の ALT が兼務し、全小中学校で、授業・休み時間・給食時間等英語を使ったコミュニケーションを楽しむことができました。

実 施 事 業	学力向上に向けた中学校市費非常勤講師配置事業 （教育総務課）
総 事 業 費	12,031,857 円
ふるさと納税充当額	9,500,000 円

英語・数学の教員免許を持つ市費非常勤講師を各 2 名配置し、チームティーチングによる授業に遅れがちな生徒のサポートや放課後補充学習の実施により、一人一人の習熟度に合わせた対応を行い、学力向上を図りました。

配置校；笠岡東中学校，笠岡西中学校

実 施 事 業	指導充実事業支援員賃金（学校教育課）
総 事 業 費	32,059,953 円
ふるさと納税充当額	7,000,000 円

通常学級や特別支援学級において、配慮を要する園児・児童・生徒の支援をおこなうことで担任をサポートするため、幼稚園 5 園に 5 名，小学校 13 校に 30 名，中学校 5 校に 9 名を配置しました。

実施事業	学校施設維持・改修事業（教育総務課）
総事業費	15,640,680円
ふるさと納税充当額	7,500,000円

生徒等が安心・安全に学校生活を過ごせるよう、学校施設の改修・改良工事を行いました。

【主な工事】

- 金浦中学校体育館照明器具更新工事
- 笠岡東中学校体育館外壁 ALC 版劣化改修工事
- 真鍋中学校 1F 教室空調設置工事
- 笠岡東中学校北棟 1・2 階女子トイレ洋式化工事
- 笠岡西中学校南棟 2・3 階女子トイレ洋式化工事

実施事業	教員業務アシスタント配置事業（教育総務課）
総事業費	11,953,393円
ふるさと納税充当額	7,000,000円

教員業務アシスタントを小学校 10 校，中学校 4 校に配置することにより，教員の事務作業等の負担を軽減し，子どもたちに向き合う時間を確保するなど，本来の業務に専念することで学校現場の教育体制を充実させました。

配置校（兼務含む）

- 小学校：笠岡小学校，中央小学校，今井小学校，金浦小学校，城見小学校，大井小学校，吉田小学校，新山小学校，北川小学校，大島小学校
- 中学校：笠岡東中学校，笠岡西中学校，金浦中学校，新吉中学校，大島中学校

実施事業	笠岡小学校仮設ステージ設置事業（教育総務課）
総事業費	6,094,000円
ふるさと納税充当額	5,950,000円

貫読講堂の老朽化に伴い施設の改修・耐震診断が必要となり、施設利用が中止となったため、学芸会等の学校行事に支障が生じることとなったため、体育館へ仮設の舞台を設置することで安全な環境のもと学校行事を実施することができた。

実施事業	一貫教育推進事業（学校教育課）
総事業費	3,547,691円
ふるさと納税充当額	3,500,000円

・小中一貫教育推進計画の策定

8月に素案を発表し、パブリックコメントを行い、地域での説明会を6回行った。施設一体型の小中一貫教育校の整備について検討を重ね、令和2年3月に推進計画を発表しました。

・笠岡市小中一貫教育研修会を2回（8月、2月）開催し、先進地である広島県府中市より講師を招聘し、教職員の小中一貫教育に対する理解を深めました。

・広島県府中市小中一貫教育校の視察を行い、一貫教育の取組の具体について研修を行いました。

実施事業	英語教育推進モデル事業（学校教育課）
総事業費	3,614,292円
ふるさと納税充当額	3,000,000円

英語教育充実のため、市内の小中学校の先生方に委員になっていただき英語教育推進委員会を開催しました。

英語教育推進委員会は、年3回、スーパーバイザーに大阪樟蔭女子大学の菅正隆教授を招いて、「笠岡市の目指す英語教育」（構想図）の手立てを見直しました。小中の先生方と一緒に見直したことで、英語を通して自らの思いや考えを発信できる児童・生徒の育成を目指すという7年間の学びのゴールの姿を共有することができました。

またスーパーバイザーからの最新の英語事情を伺うことで各ブロックでの取り組みが新学習指導要領の主旨に基づいた指導になりました。

実施事業	特別支援学級タブレット端末整備事業（学校教育課）
総事業費	4,586,544円
ふるさと納税充当額	2,250,000円

市内小中学校の全ての特別支援学級にタブレット端末及び、大型モニタ、指導用ソフト「多層指導モデルMIM」を導入し、個別の支援を要する児童生徒の特性を見極めたり、学習活動の中で視聴覚的な支援をし、基礎学力の定着のために有効活用できるようにしました。

実 施 事 業	図書館子ども用図書整備事業図書館図書整備事業 (生涯学習課)
総 事 業 費	9, 499, 975 円
ふるさと納税充当額	4, 000, 000 円

図書館では毎年、児童書や子どもに関連する本を購入しています。図書館や自動車文庫「かぶとがに号」での利用、小学校・公民館などへの配本により、笠岡市内全域の子どもたちに本を届けています。

児童書は、赤ちゃんの時から絵本に親しんでもらうブックスタートの実施、おはなし会の開催など、多くの取組に活用しています。また、学校図書館や放課後児童クラブなどへの資料提供も行っており、多くの皆様に喜ばれています。

こども図書館の新刊コーナーは、子どもたちが最初に向かう人気のコーナーで、新しい本が入るのを心待ちにしている子どもたちがたくさんいます。絵本コーナーは、多くの親子が訪れ、一緒に絵本を選んだり、子どもに絵本を読んであげるなど、親子のふれあいの場となっています。



こども図書館
「新刊コーナー」



こども図書館
「絵本コーナー」

実施事業	子ども・子育て支援事業計画策定（子育て支援課）
総事業費	2,573,090円
ふるさと納税充当額	2,000,000円

子ども・子育て支援法で義務付けられている「笠岡市子ども・子育て支援事業計画」の次期計画（令和2年度～令和6年度）を策定しました。

前年度実施したニーズ調査の結果を基に、笠岡市の地域の実情に応じた内容を盛り込んだ第2期計画を策定し、子ども及び保護者へのより一層の支援を図りました。

実施事業	特定不妊治療支援事業（子育て支援課）
総事業費	1,989,000円
ふるさと納税充当額	1,500,000円

不妊症のため子どもを持つことができない夫婦に対し、体外受精や顕微授精など特定不妊治療費の一部を助成しました。経済的な負担を軽減し、安心して治療を受けることができるようにしました。

- ・補助率 1/2（限度額 15万円/回）
- ・一対象者 6回（90万円まで）

《実績》

- ・助成 延べ件数 21件（助成者数 19人）

実施事業	井戸平左衛門賞（学校教育課）
総事業費	58,640円
ふるさと納税充当額	50,000円

目標・目的をもって中学校生活を送ろうとする意欲や向上心の醸成に資するため、市内全中学校の2年生を対象に、勉学に励み、思いやりの心やたくましさを持ち、他の模範となる生徒13名を表彰しました。

実施事業	乳児保育促進事業補助金（こども育成課）
総事業費	1,200,000円
ふるさと納税充当額	1,000,000円

私立認可保育所等における乳児の年度途中入所の需要等に対応するため、積極的に乳児保育に取り組む保育所等に対し、その費用の一部を補助することにより、乳児の受け入れ体制を確保することができました。

実施事業	母子健康手帳アプリ運用事業（子育て支援課）
総事業費	487,098円
ふるさと納税充当額	487,098円

既存の母子健康手帳と併用でアプリやWebを活用し、健診や予防接種記録をデータ化し、子育て情報を得ることができます。また、個人に合った予防接種スケジュール機能をもとに適切な時期に予防接種を受けることができます。

妊娠期や児の月齢に応じた情報を得ることで、子育て行事や支援施策の有効活用ができます。また、健診や予防接種の管理をデータ化することで生涯を通じた健康管理と、適切な時期に予防接種受診勧奨ができます。

《実績》

- ・登録件数：214件（H31.3.31時点）
421件（R2.3.31時点）

実施事業	笠岡市大田市中学生交流事業（学校教育課）
総事業費	453,840円
ふるさと納税充当額	451,000円

「井戸平左衛門」という歴史上の偉人と非常に縁の深い大田市との文化交流を通じて、相互の魅力や価値を高めました。

参加生徒は、「井戸平左衛門賞」を受賞した生徒で、大田市の中学生を笠岡市に招き笠岡の魅力を伝えました。

実施事業	心のプロジェクト「夢の教室」開催事業（学校教育課）
総事業費	414,520円
ふるさと納税充当額	400,000円

Jリーガーをはじめ様々なアスリートを特別授業講師「夢先生」として迎え、実体験等に基づく授業を通して、フェアプレー精神や協力すること夢を持つことの大切さ、また夢に向かって努力しようとする意識や態度を育みます。1回の教室時間は90分を基本とし、前半35分はゲームの時間、後半55分はトークの時間とします。

実施事業	保育所配信システム運用事業（こども育成課）
総事業費	508,800円
ふるさと納税充当額	350,000円

災害時等に笠岡市こども部及び笠岡市内の公立保育所等が得た保育所等に関する緊急情報等を、配信を希望する児童の保護者、教職員、笠岡市こども部職員等の携帯電話やパソコンに提供することにより、迅速な情報提供及び情報共有を図ることができました。

また、保育所等内においては、職員から保護者へのお知らせ等の情報発信ツールとしても活用することができました。

実施事業	幼稚園一時預かり保育事業（こども育成課）
総事業費	6,258,844円
ふるさと納税充当額	195,000円

笠岡市立幼稚園に通う園児が、保護者の傷病、出産、看護、冠婚葬祭等のやむを得ない理由により一時的に保育が困難となった場合に、在籍する園で一時的に保育を行うことにより、子育て支援の充実を図ることができました。

実施事業	小児視力検査機器整備事業（子育て支援課）
総事業費	172,770円
ふるさと納税充当額	153,120円

幼児期からの弱視の早期発見を図るため、既存の3歳児健診にて専用の機器（スポットビジョンスクリーナー）を導入しました。

小児の目の機能は6歳までにほぼ完成することから、3歳児健診では、強い屈折異常が原因となり視力が悪い状態となる弱視等を早期発見するため、視力の確認を行っています。

スポットビジョンスクリーナーは、専門職でなくとも扱うことが出来る目のスクリーニング検査の機器で、数秒の時間で屈折異常や眼位、乱視・遠視など測定することが出来るため、視力検査に併用してこの機器を導入することにより更に精度が上がり、弱視への早期発見を図ることが出来ます。

令和元年10月より導入開始